

【触れ合いを楽しむ指遊び・歌遊び】

◇ 幼稚園教育要領(平成20年3月)

第2章 ねらい及び内容

感性と表現に関する領域「表現」

「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。」

1 ねらい

- (1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。
- (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。
- (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。

2 内 容

- (6) 音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。

1 歌を選ぶ

子どもが歌う楽しさや心地よさを味わうように歌を楽しむという観点から、子どもが歌いやすい曲、リズムカルなメロディーや歌詞をとらえて選曲する。

表現を豊かにしていくためには、子ども自身が表現したいという意欲をもつことが大切である。園生活の中で、子どもたちの音や音楽との出会いをつくり出していくことは、保育者の役割である。

2 指遊び・手遊びのポイント

- (1) 子どもの目の高さに立って遊ぶ。
- (2) それぞれの遊びの盛り上がりをつかんでそこを大切にする。
- (3) 遊ぶとき、場所、状態をよく把握して、それに合った遊びを選ぶ。
- (4) 子どもの自発的な活動を促し、遊びの発展を図るように心掛ける。
- (5) 歌詞、動作、テンポなどが、子どもの年齢や発達に合った遊び方を工夫する。
- (6) みんなの見える位置にいる。
- (7) 指導の前に、楽器などで音程やリズムを知っておく。
- (8) 飽きないうちに次の遊びに発展させるか、やめるか、終わりを大切にする。
- (9) 指導者が一方的に押しつけない。
- (10) 人の身体的特徴などを笑うような遊びや遊び方は厳につつしむ。

3 指遊び・歌遊びをやってみよう

(1) リズム遊び

リズムに合わせて
「てをたたきましょう」

「大きなたいこ」

(2) 指遊び・手遊び

「おはなしゆびさん」
「げんこつ山のたぬきさん」
「いとまき」
「さかながはねて」
「いっぽんばしにほんばし」
「おはなしゆびさん」

「ずいずいずっころばし」
「おべんとうばこのうた」
「せっせっせ」
「一丁目のドラネコ」
「まつぼっくり」

(3) 絵かき歌

「虫の草むら」

「ぼうがいっぽんあったとさ」(コックさん)

(4) しりとり歌

「こぶたぬきつねこ」

(5) 歌遊び

「いっちゃんにいちゃんさんぽして」
「お花がわらった」
「森のくまさん」
「やおやのお店」

「すうじのうた」
「てをたたきましょう」
「かえるのうた」

(6) 表現遊び歌

「山の音楽家」
「ことりのうた」

「むすんでひらいて」(ヘンシン)

(7) じゃんけん遊び歌

「かもつ列車」

「げんこつ山のたぬきさん」